

第2次能代山本定住自立圏共生ビジョン

基本目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況

能代市 企画部 総合政策課

令和4年3月

目 次

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

①医療	1
【基本目標】病院群輪番制病院及び在宅当番医制の維持	
ア 地域医療体制の充実・強化	
【KPI】病院群輪番制参加病院数	
【KPI】在宅当番・小児救急医療体制参加医療機関数（在宅当番）	
【KPI】在宅当番・小児救急医療体制参加医療機関数（小児救急）	
イ 医療従事者の確保対策	
【KPI】医師数	
【KPI】看護師数	
ウ 健康寿命の延伸対策	
【KPI】大腸がん検診受診率	
②福祉	3
【基本目標】利用しやすい福祉サービスの提供と充実	
ア 子育て支援の充実	
【KPI】出生数	
イ 高齢者福祉の充実	
【KPI】要介護（要支援）認定率	
③教育	4
【基本目標】文化会館及び図書館の維持	
ア 学校教育の充実	
【KPI】圏域内居住による奨学金の返還支援件数	
イ 生涯学習機会の充実	
【KPI】社会教育施設（図書館・スポーツ施設除く）利用者数	
【KPI】図書館利用者数	
④産業振興	5
【基本目標】人口1人あたりの住民所得の向上	
ア 広域観光の推進	
【KPI】延べ宿泊者数	
イ 地域資源を活用した経済の活性化	
【KPI】行祭事・イベント入込客数	
ウ 企業誘致等による雇用機会の確保	
【KPI】新規高卒者の圏域内への就職割合	
エ 農林水産業の担い手育成	
【KPI】新規就農者数（5か年累計）	

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

①地域公共交通	7
【基本目標】公共交通カバーエリアの維持	
ア 地域公共交通の維持確保及び利用促進	
【KPI】路線バス等の輸送人員	
【KPI】大館能代空港総利用者数	
②道路等の交通インフラの整備	8
【基本目標】道路及び道路構造物の効率的な維持管理	
ア 道路等の維持管理の連携	
【KPI】道路及び道路構造物の効率的な維持管理	

③地域内外の住民との交流・移住促進	9
【基本目標】人口の社会増減数の減少幅の抑制	
ア 移住定住の促進	
【KPI】市町への相談を経た移住世帯数（5か年累計）	
イ 婚活支援事業の充実	
【KPI】婚姻数	
ウ 情報発信の強化	
【KPI】市町ホームページアクセス数	
④その他	10
ア 松枯れ被害の対策	
【KPI】民有林における松くい虫被害量	

（3）圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

①圏域内市町の職員等の交流	11
【基本目標】能代山本定住自立圏構想検討会の開催	
ア 圏域市町職員の交流・合同研修	
【KPI】定住自立圏研修等の実施	

基本目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況集計表

○令和2年度

基本目標	合計	順 調 (^_^)	横ばい (-_-)	不 調 (>_<)	実績不明	未確定
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	17	8	2	4	0	3
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	9	5	1	3	0	0
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	2	2	0	0	0	0
合 計	28	15	3	7	0	3

【評価区分等の説明】

○順 調…目標値または当該年度の仮の目標値(以下「目標値等」という。)に達している。

○横ばい…目標値等との間に隔たりはないものの、目標値等に達しておらず、基準値と大差ない。

○不 調…目標値等に達しておらず、目標値等との間に隔りがある。

○実績不明…国や県の統計等の調査年にあたっておらず、実績値がわからない。または、集計対象等が変更されたことにより、基準値と比較できる実績値がわからない。

○未確定…国や県の統計等の公表時期が到来していないため、今回確定できない。

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

①医療

基本目標	(1) 病院群輪番制病院及び在宅当番医制の維持								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	1	1						1	—
								推移の分析・考えられる要因 広域市町村圏組合に対する各市町の負担金により維持している。	達成状況 順調 (^-^)

※1＝維持

ア 地域医療体制の充実・強化

【具体的な事業】救急医療等支援事業

KPI	(2) 病院群輪番制参加病院数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	3	3						3	施設
								推移の分析・考えられる要因 医療機関への支援等を通じて、圏域の医療体制の安定化が図られている。	達成状況 順調 (^-^)

KPI	(3) 在宅当番・小児救急医療体制参加医療機関数(在宅当番)								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	35	35						35	施設
								推移の分析・考えられる要因 医療機関への支援等を通じて、圏域の医療体制の安定化が図られている。	達成状況 順調 (^-^)

KPI	(4) 在宅当番・小児救急医療体制参加医療機関数(小児救急)								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	4	4						4	施設
								推移の分析・考えられる要因 医療機関への支援等を通じて、圏域の医療体制の安定化が図られている。	達成状況 順調 (^-^)

イ 医療従事者の確保対策

【具体的な事業】産科医等確保支援事業、看護師確保支援事業

KPI	(5) 医師数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
平成29年	106.6							106	人
								達成状況	未確定
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>厚生労働省が公表する「医療施設(静態)調査」に基づく数値であるが、3年ごとの調査であり、次回の調査は令和2年、公表は令和4年4月に予定されている。</p>									

KPI	(6) 看護師数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
平成29年	560							560	人
								達成状況	未確定
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>厚生労働省が公表する「医療施設(静態)調査」に基づく数値であるが、3年ごとの調査であり、次回の調査は令和2年、公表は令和4年4月に予定されている。</p>									

ウ 健康寿命の延伸対策

【具体的な事業】健康づくり推進事業、がん対策事業、带状疱疹予防接種費用助成事業

KPI	(7) 大腸がん検診受診率								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
平成30年	14.1							33.0	%
								達成状況	未確定
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>厚生労働省が公表する「地域保健・健康増進事業報告」に基づく数値であるが、公表は令和4年8月に予定されている。</p> <p>【参考】 R1…13.6%</p>									

②福祉

基本目標	(8) 利用しやすい福祉サービスの提供と充実								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								-	-

ア 子育て支援の充実

【具体的な事業】福祉医療事業、母子保健事業、病児保育事業

KPI	(9) 出生数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	293	294						290	人
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								前年比横ばいであるが、人口減少は続いており、結婚に対する価値観の変化による未婚化・晩婚化等の影響が、今後は表れると考えられる。	順調 (^-^)

イ 高齢者福祉の充実

【具体的な事業】緊急通報システム事業、生活管理指導短期宿泊事業

KPI	(10) 要介護(要支援)認定率								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	21.7	21.9						21.0	%
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								65歳以上の高齢者人口の減少に対し、要介護認定数はあまり変化が見られないため、介護予防事業の利用促進による介護予防が必要と考えられる。	横ばい (-_-)

③教育

基本目標	(11)文化会館及び図書館の維持								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	1	1						1	—
<p>1 0 基準値 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p>								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>指定管理者による適切な管理運営を行っている。民間のノウハウを活かし、工夫をしながら利用しやすい運営に努めている。</p>	<p>達成状況</p> <p>順調 (^_^)</p>

※1=維持

ア 学校教育の充実

【具体的な事業】ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業

KPI	(12)圏域内居住による奨学金の返還支援件数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	32	34						60	件
<p>70 60 50 40 30 20 10 基準値 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p>								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>事業の利用者、圏域内居住による奨学金の返還支援者は着実に増えており、制度の周知による効果が徐々に出てきていると思われる。</p> <p>返還支援者の割合は約3割であり、定住促進にも一定の効果が現れている。</p>	<p>達成状況</p> <p>横ばい (-_-)</p>

イ 生涯学習機会の充実

【具体的な事業】文化会館・図書館管理運営事業、生涯学習推進事業

KPI	(13)社会教育施設(図書館・スポーツ施設除く)利用者数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	436,243	256,002						450,000	人
<p>500,000 450,000 400,000 350,000 300,000 250,000 基準値 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p>								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響(臨時休館、事業の中止、市民の利用自粛等)により、利用者数が減少した。</p>	<p>達成状況</p> <p>不調 (>_<)</p>

KPI	(14)図書館利用者数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	127,198	98,370						115,000	人
<p>140,000 127,198 90,000 基準値 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p>								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響(臨時休館、事業の中止、市民の利用自粛等)により、利用者数が減少した。</p>	<p>達成状況</p> <p>不調 (>_<)</p>

④産業振興

基本目標	(15)人口1人あたりの住民所得の向上								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
平成30年	2,465							-	千円/人
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								秋田県市町村民経済計算年報に基づく数値であるが、3年ごとに2年分の公表となるため、公表は令和5年度となる。 【参考】 H29…2,509千円/人 H30…2,465千円/人	-

ア 広域観光の推進

【具体的な事業】広域観光推進事業

KPI	(16)延べ宿泊者数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	189,196	135,151						195,000	人
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドを含む観光需要が大きく減少したことから目標値を下回った。	不調 (>_<)

イ 地域資源を活用した経済の活性化

【具体的な事業】スポーツ文化合宿誘致事業、地域活性化イベント支援事業、特産品販路拡大事業

KPI	(17)行祭事・イベント入込客数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	662,881	22,490						660,000	人
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								新型コロナウイルス感染症の影響により、行祭事・イベントが相次いで中止となったことから入込客数が大きく減少した。	不調 (>_<)

ウ 企業誘致等による雇用機会の確保

【具体的な事業】企業誘致活動、地域雇用対策事業

KPI	(18)新規高卒者の圏域内への就職割合																
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位								
令和元年	42.5	55.6						50.0	%								
<table border="1"> <caption>就職割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>42.5</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>55.6</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table>								年次	値	基準値	42.5	R2	55.6	R7	50.0	推移の分析・考えられる要因	達成状況
年次	値																
基準値	42.5																
R2	55.6																
R7	50.0																
								管内事業所が積極的に新規高卒者対象求人を提出し、採用活動を行っていることや、高校2年生を対象とした企業・業種ガイダンスの開催等により、地元就職志向が高まっていると考えられる。加えて、コロナ禍において地元志向が高まっていることも要因のひとつと考えられる。	順調 (^-^)								

エ 農林水産業の担い手育成

【具体的な事業】就農支援事業、農業人材育成事業

KPI	(19)新規就農者数(5か年累計)																
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位								
令和元年	16	36						100	人								
<table border="1"> <caption>新規就農者数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>								年次	値	基準値	16	R2	36	R7	100	推移の分析・考えられる要因	達成状況
年次	値																
基準値	16																
R2	36																
R7	100																
								就農前～就農後のサポート(研修、補助金等)が充実してきたことで、非農家でも新規参入しやすい体制が整ってきたことや、農業法人の新規参入、経営規模拡大に伴い、雇用就農が増えてきたこと等が考えられる。	順調 (^-^)								

※目標値は令和3～7年度累計

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 地域公共交通

基本目標	(20) 公共交通カバーエリアの維持								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	1	1						1	—
<p>1 0 基準値 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p>								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>令和2年10月から交通空白地域解消のため、能代市南部地区における予約制乗合タクシーを運行した。路線バスの廃止や統合により、バス停留所は減少したが、予約制乗合タクシーを運行することで、カバーエリアの拡大を図った。</p>	<p>達成状況</p> <p>順調 (^_^)</p>

※1=維持

ア 地域公共交通の維持確保及び利用促進

【具体的な事業】生活バス路線等維持対策事業、路線バス等利用促進事業、大館能代空港利用促進事業

KPI	(21) 路線バス等の輸送人員								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	340,207	308,933						340,000	人
<p>360,000 350,000 340,000 330,000 320,000 310,000 300,000 340,207 308,933 340,000 基準値 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p>								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>人口減少や少子高齢化、自家用車保有率の上昇に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、輸送人員が大幅に減少した。新型コロナウイルス感染症が収束したとしても、今後も減少傾向は続く見込まれるため、住民ニーズにあった交通体系を検討していく必要がある。</p>	<p>達成状況</p> <p>不調 (>_<)</p>

KPI	(22) 大館能代空港総利用者数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	148,761	24,170						150,000	人
<p>160,000 140,000 120,000 100,000 80,000 60,000 40,000 20,000 148,761 24,170 150,000 基準値 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p>								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大きく減少したことから目標値を下回った。</p>	<p>達成状況</p> <p>不調 (>_<)</p>

②道路等の交通インフラの整備

基本目標	(23)道路及び道路構造物の効率的な維持管理								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	1	1						1	—
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								除雪作業については、能代市と三種町の境界の部分について、相応分の費用を三種町が負担し一括して能代市が作業を行う等、効率的に業務を行っている。また、能代市と藤里町の境界にある三ノ倉トンネルについて、5年ごとに定期点検を実施し、能代市と藤里町で相応分の費用を負担している。	順調 (^-^)

※1＝維持

ア 道路等の維持管理の連携

【具体的な事業】道路等の維持管理

KPI	(24)道路及び道路構造物の効率的な維持管理(再掲)								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	1	1						1	—
								推移の分析・考えられる要因	達成状況
								除雪作業については、能代市と三種町の境界の部分について、相応分の費用を三種町が負担し一括して能代市が作業を行う等、効率的に業務を行っている。また、能代市と藤里町の境界にある三ノ倉トンネルについて、5年ごとに定期点検を実施し、能代市と藤里町で相応分の費用を負担している。	順調 (^-^)

※1＝維持

③地域内外の住民との交流・移住促進

基本目標	(25)人口の社会増減数の減少幅の抑制								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	▲ 444	▲ 363						-	人
				推移の分析・考えられる要因 令和元年度と比べると数値は上昇したが、全市町とも社会減で推移する年が多く、社会減は拡大傾向にある。新規高卒者の圏域内への就職割合の増加をはじめ、成果が徐々に現れている項目もあるが、引き続き、社会減の抑制に向けた取組を強化していく必要がある。				達成状況	
								-	

参考値:人口の社会増減数

ア 移住定住の促進

【具体的な事業】空き家活用事業、移住定住促進事業、移住支援金

KPI	(26)市町への相談を経た移住世帯数(5か年累計)								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	32	29						300	世帯
				推移の分析・考えられる要因 新型コロナウイルスの影響により、県外をまたぐ行動が制限されているなど、移住を検討していてもなかなか行動できないことが実績の減につながっていると考えられる。				達成状況	
								横ばい (-_-)	

※目標値は令和3～7年度累計

イ 婚活支援事業の充実

【具体的な事業】出会い創出事業、あきた結婚支援センター会員登録助成事業

KPI	(27)婚姻数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	213	148						220	件
				推移の分析・考えられる要因 元年度の婚姻数が令和婚の影響で増えたことが、2年度の婚姻数が減少した要因と考えられる。				達成状況	
								不調 (>_<)	

ウ 情報発信の強化

【具体的な事業】圏域情報発信事業

KPI	(28)市町ホームページアクセス数								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	1,258,173	1,622,204						1,600,000	件
				推移の分析・考えられる要因 令和2年度は新型コロナウイルスの発生による感染症対策、それに伴う特別定額給付金、ワクチン接種への関心からアクセス数が大幅に増加した。前述を除いたアクセス数はほぼ前年と同等であり順調に推移している。				達成状況	
								順調 (^-^)	

④その他

ア 松枯れ被害の対策

【具体的な事業】松くい虫対策事業

KPI	(29)民有林における松くい虫被害量								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	3,995	2,583						4,000	m ³
								<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>平成29年度から被害量は大幅に減少している。薬剤散布や伐倒駆除による効果と考えられるが、県内の民有林の被害量の36%が能代山本地域で発生しており、引き続き、抜本的な対策を国や県に働きかけていく。</p>	<p>達成状況</p> <p>順調 (^-^)</p>

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

① 圏域内市町の職員等の交流

基本目標	(30) 能代山本定住自立圏構想検討会の開催								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和2年	1	1						1	—
				推移の分析・考えられる要因 1回以上の開催で「1」としている。 2年度は検討会を4回実施し、新たな連携事業等の検討を行っている。				達成状況	順調 (^-^)

※1=維持

ア 圏域市町職員の交流・合同研修

【具体的な事業】広域連携職員研修

KPI	(31) 定住自立圏研修等の実施								
基準年(度)	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値	単位
令和元年	1	1						1	件
				推移の分析・考えられる要因 湯沢雄勝地域定住自立圏の定住・移住促進事業の取組等を研究した。 ※例年、検討会メンバーによる先進地視察を行っているが、コロナの影響により視察を中止し、視察先からの資料を活用して勉強会を開催した。				達成状況	順調 (^-^)